

夫婦愛や長寿を壽ぐ謡曲「高砂」由来の“レトロ高砂まち歩き”
2025年5月30日(金)

「高砂や、この浦舟に帆を揚げて・・・・・はや住之江につきにけり」と、婚礼・正月などの祝言歌として定番の謡曲“高砂”。その歌詞は、室町期の猿楽師・世阿弥による能楽に由来し、今なお端唄・謡曲・地歌として歌い継がれている。

その故郷として知られる高砂市は、兵庫県南部播磨平野の東部に位置していて、東に加古川が流れ、南に瀬戸内播磨灘を望む、白砂青松の風光明媚な景勝地として古来知られている。

また、江戸期には北前船の主要な寄港地として大いに栄え、現在の街並みなどに当時の殷賑を極めた面影を厳かに忍ばせている。



高砂神社・相生の松



十輪寺・本堂

さあ、風薫る美しき五月です。摂州・茨木の遊び仲間が共に連れ立ち、五感（視・触・聴・嗅・味）や第六感（直観）など人の持てる知覚の全てを駆使して、“レトロ高砂まち歩き”に繰り出そうではないか！

案内人：牧 彰（会員）

◇参集地：阪急「茨木市」12時（時間厳守）

◇順 路：「茨木市」12：15⇒「新開地」／山陽「新開地」⇒13：48「高砂」～（高砂市内観光）～夜の宴（17：00～18：30）～「高砂」19：00⇒20：36「茨木市」

◇見学先：梅が枝湯・旧国鉄高砂駅・十輪寺・申義堂・魚町倶楽部・高砂神社・旧工楽邸・三連蔵・商工会議所・銀座商店街 ー2時間30分コースー

※高砂市観光交流ビューロー「結びん ☎079-441-8076」市内観光案内（無料）に
乞うご期待！

◇夜の宴：瀬戸内（穴子）料理 そらまめ ☎079-443-0830 高砂市高砂町鍛冶屋町1416-1
・穴子せいろ蒸しセット 2100円 ・ミニ穴子せいろ蒸しセット 1500円
・茶蕎麦セット 1900円

◇定 員：凡そ12名程度ー締切り4月3日（木）ー

◇交通費：1310円（茨木市～高砂）×2＝2620円

◇申込先：「街ing いばらき」代表・阪田 浩（080-1436-9881）

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己負担でご対応ください。